



学校だより

鯛ノ巣

島根県仁多郡奥出雲町立阿井小学校

●学校スローガン

キラリ輝く 阿井っ子

あいさつ 一生懸命 あいじょう

令和3年 2月22日発行 No.11

冬から春へ 学校もバトンタッチの準備です

「三寒四温」という言葉があるように、この時期はちょっと暖かな日があると思えば、逆に真冬に逆戻りするような日もあります。先日、雪に見舞われた日の朝、登校する子どもたちを迎えに校門の辺りに出ると、雪の重みを感じながらも凛とした咲きっぷりの梅の花が目にとまりました。冬から春へと、季節のバトンが渡される場面を見た思いでした。

6年生が卒業するまであと1か月ほどになりました。今まで全校のみんなのために活躍してきた6年生に感謝しながら、5年生以下の学年の子どもたちが新しい学校づくりをするための取り組みを進めています。



雪の帽子をかぶった梅の花



6年生を送る会に向けて

6年生を送る会に向けての取り組みが始まりました。先日、代表者会が開かれ、各学年の代表が計画案について話し合いを行いました。6年生への感謝の気持ちと、新たなステージに向かって大きく羽ばたいてほしいという願いのもとで、送る会のスローガンについて活発な意見交換が行われました。本番の送る会は2月26日です。思



心を込めてプレゼント作り
中身はまだ秘密です

い出に残る送る会になるように、一人一人がそれぞれの役割を果たして準備に取り組んでほしいものです。

新一年生の一日入学



4月に阿井小学校に入学する予定の阿井幼稚園の皆さんが、このほど小学校を訪れ、一日入学を体験しました。1年生からの熱烈的な歓迎を受け、園児の皆さんは大喜びでした。これまでも学校の給食を試食するなど、何回

か小学校に来て、学校生活を体験しています。早く小学校に入学したいという思いも一層強まったことでしょう。

にこにこ交流会・卒業生を送る会



趣向を凝らした自己紹介をしました。くす玉づくりも頑張りました。

奥出雲町内の特別支援学級の皆さんが集う「にこにこ交流会・卒業生を送る会」がこのほど行われました。今年度は新型コロナウイルス感染拡大予防のため、初めて出会う場となりましたが、他校の子どもたちとも笑顔で交流を楽しむことができました。

スーパーホッケー交流会



2月16日に奥出雲町スーパーホッケー交流会(仁多会場)が開かれました。例年この時期に、全町の小学校の代表チームが集い競う大会が行われてきました。今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、仁多・横田地区に分かれ、6年生のみが出場する交流を目的にした会になりました。阿井小からは2チームが参加し、他の学校との対戦を楽しみました。4月からは仲間になる他校の友達と、スーパーホッケーを通して交流を図ることができました。

阿井 A

3-3 亀嵩・三沢
0-1 三成 B
6-2 三成 A・高尾

阿井 B

0-1 三成 A・高尾
2-5 布勢
1-7 三成 B

教育の質の向上を目指して

奥出雲町教育委員会は、このほど「教職員の働き方改革プラン」を策定しました。このプランは奥出雲町 HP にも掲載されており、保護者の皆様にはご理解をいただく旨の文書を配布したところです。働き方改革は、少子高齢化に伴う生産年齢人口の減少など、わが国が直面する課題を解決するため、働く方一人一人がよりよい将来の展望を持てるようにすることを目指したものです。

学校現場でも、教職員の長時間勤務の実態が全国的に明らかになり、多くの教職員が疲労や心理的負担を抱えながら業務を行っていることも指摘されています。本町の働き方改革プランに則り、阿井小学校でも今までの取組の中で見直しができる箇所を再検討していきながら、本校にあった働き方改革をすすめていきます。現在のところ、「隔週の定時退庁日の設定」「ICTを活用した業務時間の短縮」「学校行事等の見直し・精選」「自分自身の勤務実態の把握」などの取組を実施・検討しています。

学校の働き方改革の最大の目的は、「教育の質を高めること」にあります。「キラリ輝く阿井っ子を育てるキラリ輝く教職員」を目指し、自らの健康保持に努め、自己研鑽を行いながら、子どもたちに対して効果的な教育活動を行っていきます。ご理解とご協力をいただきますようよろしくお願いいたします。

教職員の働き方改革

島根県学校図書館協議会より本校の学校図書館活用教育の実践に対して、学校図書館活用奨励賞をいただきました。



- 2月・・・
- 23日(火) 天皇誕生日
- 26日(金) 6年生を送る会
- 3月
- 2日(火) スクールカウンセラー来校
- 3日(水) 委員会
- 4日(木) 全校朝礼 年度末 PTA 総会
- 10日(水) PTA 新旧役員引継会
- 12日(金) 地区児童会
- 17日(水) 卒業式リハーサル 大掃除
- 18日(木) 6年生給食終了 卒業式準備

- 19日(金) 卒業証書授与式
- 20日(土) 春分の日
- 23日(火) 給食終了
- 24日(水) 修了式・離任式
- 25日(木) 学年末休業日

- 4月
- 8日(木) 始業式
- 9日(金) 入学式



1月下旬の授業公開は、人権・同和教育に視点を当てた授業でした。島根県教育委員会が発行する教育情報紙第41号には、「これからの人権教育」というタイトルで、次のように書かれています。「人権教育の目的は、子どもたちのなかに格差の問題や人権課題の解決に向きあえる力＝人権感覚を育むことです。そして、人権感覚とは「多様性」を認め、受け止める力でもあります。」阿井小学校では、望ましいとされる価値を押し付けるのではなく、人権課題に対して主体的に考え、判断し解決しようとする力、お互いの違いを認め合える力を育てていきたいと思っています。以下に当日の授業の様子をお伝えします。



相手を理解する心

3年生

こばと学級

〇〇マナーをさがせ!

家族の仕事はだれがする?

4年生



家の手伝いをしたたかしはお母さんに合計5万円の請求書を出します。反対にお母さんはこれまでたかしに対して世話をした分の請求書を出します。0円の請求書です。たかしやお母さんの思いを想像しながら、現代社会にある「女性・男性だから」という見方考え方について振り返りました。

1年生

親切な心で



橋の上のおおかみは、うさぎやきつね、たぬきなどの動物たちが橋を渡ろうとするといじわるをして追い払っていました。そんな中でくまが橋を渡ろうとすると、おおかみと向かい合ったくまは、おおかみを抱きかかえ、自分の後ろにおおかみを移してやったのです。

子どもたちは優しくまに出会ったおおかみの気持ちの変化をとらえながら、「優しさ、親切な心」について考え、自分自身を振り返っていききました。

2年生

世界の国の人たちと



世界には多くの国があり、食べ物や遊びなど、国によって違いがあります。日本にも他国から伝わってきたものもたくさんあります。世界の遊びや食事について調べ、世界の人たちとふれあいたくなった主人公の気持ちを想像しながら、他国の文化や伝統を知ることの大切さについて話し合いました。

3年生は、「たまちゃん、大すき」という資料を使って、友達の気持ちを分かろうとする心や許す心について考えました。学級の中での自分自身のふるまいについても振り返りながら、お互いの気持ちを理解しあい、助け合って生活しようという思いが広がっていききました。



こばと学級では、登校中の町のイラストから、あっぱれマナーやダメマナーをみつけ、それぞれの気持ちを考えました。自分のことだけでなく、家族やまわりの人の気持ちを考えたり、相手のことを思いやったりする気持ちが育つことを願って授業を考えました。

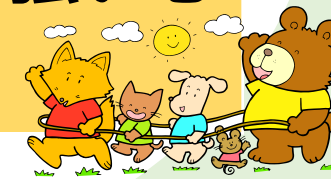
6年生 感染症から自分や大切な人を守るため



授業公開日とは別の日でしたが、6年生は新型コロナウイルス感染症について学びました。

この感染症には、「病気」「不安」「差別」という3つの側面があることを知りました。差別的な発言に同調せず、感染症から自分自身や大事な人を守るためにできることを考えました。

人を思いやる優しい心 差別に立ち向かう強い心 阿井小の人権・同和教育



人の権利「あっていいちがい、あってはいけないちがい」

5年生

大人はたばこを吸ってもよい。高校生はすってはいけない?

日本では食事のときにはしを使うが、インドでは指を使う。



あってもいいちがい(文化・習慣・個性など)とあってはいけないちがい(人種、性別などによる不平等)について考えました。偏見や差別を見抜き、だれもがお互いに認められる社会づくりにつながる学習でした。

保護者の方から授業を見られたご感想をたくさん寄せていただき、ありがとうございました。そのうちの一部を紹介します。
●人権といっても様々で、外国の方、友人の思いなど、学ぶことがたくさんあると思いました。学んだこと、思ったことを皆で話し合うことで、聞く力、発言する力も養われていくんだと思います。大人がたくさんいる中、緊張する姿もありましたが、それぞれがのびのびと学習できてよかったと思います。
●授業公開して頂き、ありがとうございました。各学年に応じた目標や視点が、資料をみてよく分かりました。道徳はとても大切にしたい教科です。温かい心で、誰にでも親切にできる阿井っ子に育ててほしいと思います。
●いつもと違う緊張感のある中で、伸び伸びと発言ができる授業だったなと感じました。
●「相手を理解する心」今までもこれからも、子どもたちにとって大切な授業だったと思います。…今回の授業は今は無理でも、いつか役に立つと思っています。…
●・・・ジェンダーフリーと言われる時代に追いついていかないといけなは、私たち大人の方かもしれないなと思いました。このようなテーマで子どもと話す機会はなかったので、良いきっかけになりました。
(ご感想の一部を省略して掲載したのものもあります。)

6年生

町の未来を考えよう



6年生はこれまで学んできた「たたら学習」「阿井の幸福論」について、自分たちが調べ、まとめたことを保護者の前で発表しました。そして、後半は保護者の方も加わっていただき、「阿井のために、自分たちができることは?」というテーマで、阿井の未来について話し合いました。色々な意見がとびかうなかで、お互いに尊重し合い多様な価値観を認め合う時間になりました。

